

わがまちベンチプロジェクト

2012年にベンチデザインを募集し、最優秀作品に選ばれた「なかよしベンチ」は市内に5カ所。ぜひ探してみてください。

このプロジェクトの趣旨に賛同し、ベンチの設置を希望する団体は、ベンチ代の半額(上限4万円)の助成が受けられます。

詳しくは、芦屋市社会福祉協議会にお問い合わせください。

問い合わせ 社会福祉協議会 ☎32-7539



芦屋霊園



あしや喜楽苑

気軽にふらっと、ご利用ください！

社会福祉法人 あしや聖徳園・東山手高齢者生活支援センター
センター長 税所篤哉さん

「コミュニティスペースふらっと」を立ち上げる際、近所の人に気軽に立ち寄ってもらい、たくさんの交流が生まれる場所にしたいと思っていました。元々何も無い空間だったところにベンチを設置したのは、この場所を利用してくれる人たちに楽しいひとときを過ごしていただき、少しでも暮らしが豊かになるお手伝いができたらという思いがあったからです。ベンチに座ってしゃべっていたり、お弁当を広げて食べて



いたり、犬の散歩中に休憩していたりする姿を見かけると、設置してよかったと思います。ベンチもコミュニティスペースも、ぜひお気軽にご利用ください。

あしや聖徳園・東山手高齢者生活支援センタースタッフ船寺さんと税所センター長

あしや発信局玉手箱プロジェクト

学生ボランティアにインタビュー

シニア世代対象スマホ講座のボランティアに参加した、学生のお二人に感想や思いなどを聞いてみました。

会話を学べました 甲南高等学校 尾久雅也さん

部活をしていないので、夏休みに何かしたくて、また、人見知りや直したい思いもあって参加しました。SNSのことを尋ねられたり、スマホの使い方を教えたり、たくさんの世間話をして盛り上がりました。いろんな世代の人との会話を学べました。コロナ禍で外食や買い物が難しい状況なので、機会があればネットショッピングなどの方法も伝えられたらと思います。



コミュニティの広がり期待 甲南高等学校 徳平航大さん



シニア世代の人と話していても、世代のギャップを感じることはほとんどなく、インスタグラムの話で盛り上がりました。スマホの使い方だけでなく、若い人と話がたくて立ち寄ったという人もいて、いつもは祖父母以外に高齢者の方と話す機会がないので、楽しかったです。シニア世代でスマホを使っている人は、思っているよりたくさんおられると感じました。スマホから生まれるコミュニティみたいなものが、大きく広がっていけばいいなと思いました。

スマートフォンを通してつながる

はじめは、スマホカフェに緊張していた皆さんも、最後はみんな笑顔でした。今後もスマートフォン初心者へ使い方を教えてくれる人を増やし、この取り組みと共に笑顔の輪も広げていきたいと思っています。

【スマホ講座】

- 日時 11月12日(木)午後1時30分～4時
- 会場 保健福祉センター ※詳細は下記へ

問い合わせ 社会福祉協議会 ☎32-7539

皆さんお気軽にご参加ください。お待ちしております！



社会福祉協議会 塚本

今後の活動について

人と人のつながりを感じてもらえるような取り組みを進めていきたい

地域福祉アクションプログラム推進協議会 会長 山内祥弘さん

新型コロナウイルスの影響下において、今までのように活動ができるか不安でしたが、メンバー同士で協議し、今後の活動の目途が立ってきました。これからもみんなで楽しく活動していきたいと思っています。



興味のある人はメンバーを随時募集しているので、お気軽に事務局の社会福祉協議会(☎32-7539)にお問い合わせください。

